

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 15 日

評価対象事業		評価者	こども相談課長		平井 あかね
こども-17 子育て支援事業		☒ 自治事務	主管課	こども相談課	
		☐ 法定受託事務	関連課	こどもみらい課	
総合計画上の位置付け	分野	子育て	施策の方針	すべての子育て家庭への支援	

1 事業の目的

対象	子育て家庭等
意図	子育てに関する多様なサービスや情報を提供し、子育てニーズに対応するため。
効果	子育て中の市民が子育てを楽しみながらできる環境整備を行う。

2 平成27年度に実施した事業の概要

・ファミリーサポートセンター若しくは子育て支援事業者の育児支援又は家事支援を利用した人のうち、在宅で子育てをしている家庭などに、利用料の一部を助成した。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算	27年度決算	データ区分	28年度当初予算	備 考
人口等のデータ	人 口 177,464人 世 帯 数 80,368世帯 事業の対象者数	177,243人 80,676世帯	人 口 176,869人 世 帯 数 80,928世帯 事業の対象者数	176,869人 80,928世帯	・各年3月31日 (住民基本台帳)
運営資源状況	決算値(千円)	2,268	当初予算(千円)	2,610	
	国県支出金	48	国県支出金		
	地方債		地方債		
	その他		その他		
	一般財源	2,220	一般財源	2,610	
事業経費運営	人員配置数	0.5	人員配置数	0.5	
	人件費(千円)	3,796	人件費(千円)	3,961	
	総事業費(千円)	6,064	総事業費(千円)	6,571	
	市民1人当りの経費(円)	34	市民1人当りの経費(円)	37	
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか		2. ない		
	関連・類似事業との統合はできないか		3. 統合できない		
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか		3. 変わらずにある		
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか		3. 廃止・休止による影響は大きくある		
有 効 性	今後もしが実施すべき事業か		5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある		
	事業の成果は得られているか		2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である		
公 平 性	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか		4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している		
	受益者負担は公正・公平か		○.負担導入済	○-2. 適正な受益者負担を導入している	
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか		○.協働実施済	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している	
				協働実施済の場合のパートナー N P O 法人	
事業内容の方向性	☐ a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	☐ 拡大	見直しの内容	
	☒ b: 事業内容は現状通りとする		☐ 縮小		
	☐ c: 事業を休止又は廃止する		☐ その他		
	☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒		事業へ統合		
予算規模の方向性	☐ A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	H27年度から子ども・子育て新制度に合わせて事業の組換えを行った。今年度はその推移を見ていく。		
	☒ B: 予算規模は現状維持とする				
	☐ C: 予算規模を縮小する				
総評(評価に対する考え方、根拠等)	引き続き事業を実施し、在宅子育て家庭の支援を行っていく。				

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	在宅子育て家庭支援事業利用料助成について事業を継続する。		
課題解決のために行った平成27年度の取組	保育園、幼稚園を利用していない在宅での子育て家庭を支援する施策として事業を継続する。		☐ 解決 ☐ 一部解決 ☐ 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	申請に必要な書類等手続きが複雑でわかりにくいいため、簡素化し、誰でもわかりやすいものにする必要がある。		

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	ファミリーサポートセンター利用助成事業は県内4市2町で実施しているが、それぞれ独自の制度であり、比較対象にはならない。								
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	利用料助成件数					単位	件	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
助成件数の把握により家庭負担軽減の状況を把握するため 所得制限の実施を見送ったため H28に目標値の見直しを行った。	目標値	350.0	350.0	400.0	400.0	400.0		400.0		
	実績値	366.0	380.0							
	達成率	104.6%	108.6%							
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
当該事業実施に伴う 指標の推移に関する 考え方	毎年度申請者数が伸びている。当該事業を引き続き周知していく。									

● 事業に関する特記事項

☐ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	☒ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	--